第３学年Ａ組　特別の教科道徳　授業案

１　主題名　　新しいものを生み出すには　内容項目Ａ-（5）真理の探究、創造

Ｄ-（22）よりよく生きる喜び

　　資料名　　「日本から世界へ、そして宇宙へ　～インスタントラーメンの誕生～」

出典　新しい道徳３

２　ねらい

安藤百福の姿から、物事に熱中して粘り強く考えながら挑戦し続けることの価値について考えを深め、百福の生き方を一つの視点として捉え、自分にとってよりよい生き方を考えていこうとする意欲を高める。

３　主題設定の理由

　（１）ねらいとする価値

　　興味がある物事について、熱中した経験は誰もがもっているだろう。その中で、課題が生まれ、今までの経験では乗り越えられないと気づいたときに、解決策を粘り強く探究し、誰もしたことがない新しいことに挑戦していく人はどのくらいいるだろうか。誰にでもできることではないが、このような挑戦をしてきた人が自分の人生を切り拓き、今の社会の進歩や発展を支えている。

　　「こうなりたい」という願いを実現するためには、考え、行動し、工夫し、時には新しいものを生み出すことが必要である。自分の思い描くよりよい生き方を実現するためには、考えることを止めず、経験がないことにも挑戦していくことが大切であることに気づかせたい。

　（２）生徒の実態

「誰とでも話したりペアをつくったりすることができるクラスにしたいです。」これは４月はじめに学級目標について話し合った際にある生徒が言った言葉である。目が合った人やペアがいない人に声をかけて、男女関係なく取り組める生徒がたくさんおり、友達に体を向けて話を聞いたり、拍手を送ったりするなど、仲間に対して温かな心をもった生徒たちである。このような生徒が集う本学級には「みんなががんばるなら自分もがんばろう」という雰囲気がある。一方で自分の意見を強く主張する生徒はほとんどおらず、よくも悪くも全体の雰囲気に流される傾向にある。やった方がよいと思われることを考え、気を利かせて動ける生徒もいる。しかし、思いを形にしようと挑戦する力は弱い。生活日記などからやってみたいという「思い」があることは分かるが、このままでもよいという気持ちが勝ったり、誰かがやってくれるだろうという人任せな部分もあったりして、一歩踏み出せないことが多い。生徒は単元を通して、さまざまな人の生き方や価値観に出会い、自分の生き方を考える視点を増やしてきた。あえて自分がやらなくてもよいことに率先して取り組んでいる人や、郷土への思いを若い世代へ伝えようとしている人、その人たちに共通していることは、思いを行動へと移すことで自分の理想の生き方を実現していることであり、生徒たちはそれに気づき、一歩踏み出すことの価値を感じ始めている。

　（３）資料について

　　本資料は、豊かな発想力と強いチャレンジ精神でインスタントラーメンの開発に取り組んだ安藤百福についての話である。百福の研究の成果だけに目を向けると、自分にはできない遠い世界の人だと感じてしまう。しかし、百福の生き方に目を向けてみると、物事に熱中し考え抜く姿や、失敗を恐れずに挑戦する姿、諦めずに何度も挑戦する姿など、自分の生き方のヒントになる姿も多い。そこで指導にあたっては、百福の生き方に着目し、物事に熱中して粘り強く考えながら挑戦することの価値について考えを深めさせたい。そして、百福の生き方を一つの視点として、自分自身のよりよい生き方を考えていこうとする意欲を高めさせたい。

４　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習の流れ | 手だて・支援 |
| 導  入  10  分 | 安藤百福がよりよく生きるために大切にしていることって何だろう。  安藤百福がよりよく生きるために大切に  していることは〈　　　　　〉である。  ・あきらめずに何度も挑戦すること。  ・考え続けること。  ・前向きに考えること。 | ※前時に資料を読ませ、安藤百福の  生き方を短い言葉でまとめさせておく。 |
| 展  開  30分 | 百福のような生き方をしたら、何かいいことがあるのかな。  **ある**  ・達成感。  ・充実して満足感がある。  ・好きなことがずっとできる。  ・お金が儲かる。    ・時間はかかるけれど、目標を達成するためには必要なこと。  ・行動しないと目標は達成できない。  ・体育大会に向けてみんなで悩んで考えたことは百福の生き方と同じかもしれない。  ・全力でやったら失敗もいい経験になる。 | ※百福の生き方の価値に迫るために、  〈ある・ない〉両方の理由を考えさせる。  **ない**  ・疲れる。  ・時間がかかる。  ・お金がかかる。  ※生徒の思考を深めるために、生徒の意見を問い返していく。  ・疲れるかもしれないけれど達成感はありそう  ・今のままでもよいと思う。  ※百福の生き方を身近に感じさせるために、  「みんなにも同じような経験はないか。」と問う。  (既に生徒から具体的な経験が述べられている場合は、焦点化して全体に考えさせる)  ・大変だったけれどやってよかった。  ・自分がやらなくても誰かがやってくれる。 |
| 終  末  10分 | 百福の生き方から学んだことや気づいたことはどんなことかな。  ・挑戦してみないとわからないことがあるから、まずは挑戦してみることが大事だと思った。  ・百福のように考え抜くことが自分には  必要なことだと感じた。 | ※百福の生き方を一つの視点として自分の生き方を考えられるように、「あなたはこの生き方を大切にしたいか。」と問う。  (机間指導で生徒の様子から必要に応じて) |

６　評　価

安藤百福の姿から、物事に熱中して粘り強く考えながら挑戦し続けることの価値について考えを深めようとしていたか。(発言、ワークシートより)